

令和3年度「県庁エコオフィスプラン」及び「環境物品等調達方針」の取組結果について

県では、二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化を防止するため、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、地球温暖化対策地方公共団体実行計画《事務事業編》（県庁エコオフィスプラン）を策定し、二酸化炭素の排出削減のための取組を行っており、令和3年度からは「第5次県庁エコオフィスプラン」を運用しています。

また、環境に配慮した物品の購入（グリーン購入）については、毎年度「環境物品等調達方針」を定め、取組を行っています。

今回、令和3年度（「第5次県庁エコオフィスプラン」）の取組結果について取りまとめました。

なお、対象範囲は県の全ての所属であり、知事部局（交通局、各種委員会、指定管理施設含む）、教育庁（県立学校、指定管理施設含む）、県警本部（各警察署含む）となります。

1. 県庁エコオフィスプランの取組結果

県庁エコオフィスプランでは、「二酸化炭素排出量」、「コピー用紙使用量」、「廃棄物発生量」、「廃棄物資源化率」について、目標値を設定し、進捗を管理しています。

令和3年度の実績等は、表1に示すとおりです。

表1 令和3年度実績等一覧

| 項目 | 単位 | 平成25年度 (基準年度) ※ | 令和2年度 (前年度) | 令和3年度 | | |
|----------|--------|-----------------------|----------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | | | | 目標値 (下段は基準年 度比の増減率) | 実績値 (下段は基準年 度比の増減率) | 前年度比 (下段は前年度 比の増減率) |
| 二酸化炭素排出量 | トン | 77,225 | 46,510 | 49,126 (△ 36.4%) | 42,897 (△ 44.5%) | △ 3,613 (△ 7.8%) |
| 内訳 | 燃料使用関係 | トン | 24,385 | 27,073 (△ 15.3%) | 24,436 (△ 23.5%) | 51 (0.2%) |
| | 電気使用関係 | トン | 22,125 | 22,053 (△ 51.3%) | 18,461 (△ 59.2%) | △ 3,664 (△ 16.6%) |
| コピー用紙使用量 | 千枚 | 129,524 | 106,266 | 112,671 (△ 13.0%) | 102,560 (△ 20.8%) | △ 3,706 (△ 3.5%) |
| 廃棄物発生量※ | トン | 1,503 | 1,449 | 1,375 (△ 8.5%) | 1,791 (19.2%) | 342 (23.6%) |
| 廃棄物資源化率※ | % | 44.1 | 40.4 | 49.5 | 43.1 | △ 2.7 |

※「廃棄物発生量」「廃棄物資源化率」の基準年度は令和元年度

(1) 二酸化炭素排出量

- 令和3年度の二酸化炭素排出量は42,897トンであり、目標値（49,126トン）を達成しました。
- 二酸化炭素排出量の由来別内訳としては、ガソリン、軽油等の燃料使用関係の排出量は24,436トンとなり、前年度より増加しましたが、目標を達成しました。電気使用関係の排出量は18,461トンとなり、前年度より減少し、目標を達成しました。

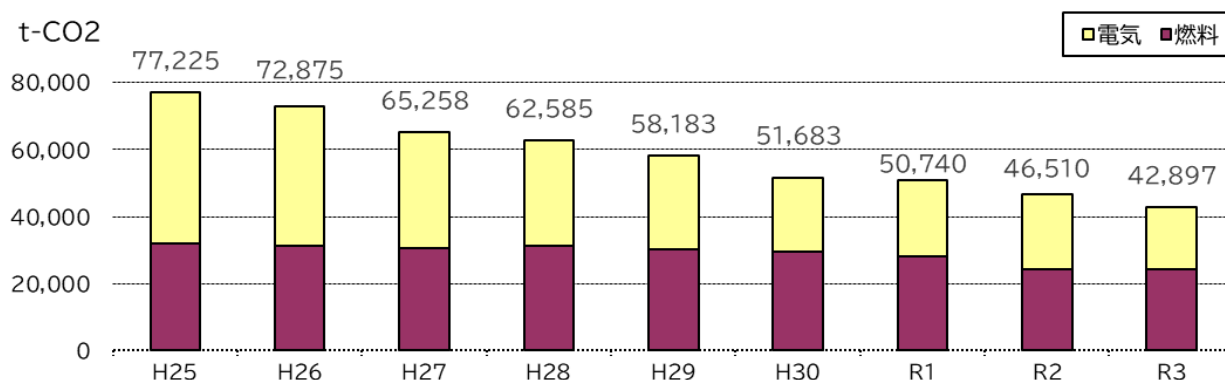


図1 二酸化炭素排出量の推移

※電気に関しては、九州電力（株）の各年度実績算定用の係数を使用して算定しています。

- 県の事業における用途別の二酸化炭素排出量は、表2に示すとおり事務所等、移動体、公共施設等の3つに大別されますが、令和3年度の内訳としては、事務所等が全体の50.2%、移動体が全体の44.6%、公共施設等が全体の5.2%となっています。
- 前年度と比較すると表2のすべての用途において二酸化炭素排出量は減少しています。低燃費型車両や省エネ設備の導入により二酸化炭素排出量が減少したものと考えられます。

表2 用途別二酸化炭素排出量（令和3年度）（t-CO₂）

| | CO ₂ 排出量（構成比） | | 増減の理由 |
|-----------------------------------|--------------------------|-------------------|------------------------|
| | 令和2年度 | 令和3年度 | |
| ① 事務所等 （②、③と区分できないものを含む） | 23,855 (51.3%) | 21,526 (50.2%) | ・電力の排出係数減少 |
| ② 移動体 （公用車、バス、船、ヘリ燃料等） | 19,321 (41.5%) | 19,131 (44.6%) | ・エコドライブ ・低燃費型車輛等の導入 |
| ③ 公共施設等 （道路街灯、トンネル・ダム管理等、信号機等） | 3,335 (7.2%) | 2,240 (5.2%) | ・省エネ設備の導入 |
| 全 体 | 46,510 (100%) | 42,897 (100%) | |

※端数処理（t-CO₂単位で四捨五入）の関係で、全体と内訳合計が合わないことがあります。

（2）使用量・発生量等の実績及び今後の方針

① 燃料使用量

- 令和3年度の燃料使用量は、ガソリン、A重油、LPガス、ジェット燃料が前年度より減少し、都市ガス、軽油、潤滑油、灯油が前年度から増加しました。
- 車両についてはエコドライブの普及啓発などスマートムーブの推進や、公用車等の環境物品等調達方針に基づき低燃費車両への更新を徹底するとともに、乗用車については電動車等の導入も進めていきます。また、冷暖房機についてはクールビズ及びウォームビズの励行により、さらなる燃料使用量の削減を進

めていきます。

- 国の制度等を活用し、県有施設の省エネ実践による二酸化炭素排出量の削減を図ります。

表3 燃料及び電気使用量の実績

| 項目 | 単位 | 平成25年度 (基準年度) | 令和2年度 (前年度) | 令和3年度 | 増減 (基準年度比) | 増減 (前年度比) |
|--------|----------------|------------------|----------------|------------|---------------|--------------|
| ガソリン | ℓ | 2,263,918 | 1,816,679 | 1,728,214 | △ 535,704 | △ 88,465 |
| 灯油 | ℓ | 433,590 | 323,632 | 324,066 | △ 109,524 | 434 |
| 軽油 | ℓ | 7,689,757 | 5,859,551 | 5,865,930 | △ 1,823,827 | 6,379 |
| ジェット燃料 | ℓ | 85,548 | 46,828 | 45,344 | △ 40,204 | △ 1,484 |
| A重油 | ℓ | 547,953 | 411,251 | 403,213 | △ 144,740 | △ 8,038 |
| 潤滑油 | ℓ | 6,855 | 5,855 | 7,070 | 215 | 1,215 |
| LPG | kg | 237,958 | 80,188 | 77,532 | △ 160,426 | △ 2,656 |
| 都市ガス | m ³ | 1,481,113 | 1,237,421 | 1,358,135 | △ 122,978 | 120,714 |
| 電気使用量 | kWh | 73,851,859 | 60,618,247 | 62,365,975 | △ 11,485,884 | 1,747,728 |

② 電気使用量

- 令和3年度の電気使用量は、前年度より増加しています。用途別に見ると、事務所等は増加し、公共施設等（道路街灯、トンネル・ダム管理等、信号機等）は減少しました。
- クールビズ及びウォームビズの励行やオフィス活動での節電取組の徹底により、事務所等における電気使用量の削減を進めていきます。
- 設備更新等による取組として、照明器具（信号機、道路照明等を含む）のLED化や高効率の空調機への更新等を進めるとともに、照明や空調等の機器・設備の運用を見直すことにより、電気使用量の削減に取り組んでいきます。
- 国の制度等を活用し、県有施設の省エネ実践による二酸化炭素排出量の削減を図ります。（再掲）

表4 用途別電気使用量（千kWh）

| | 令和2年度 | 令和3年度 | 増減 |
|-------|--------|--------|---------|
| 事務所等 | 51,483 | 54,801 | 3,318 |
| 公共施設等 | 9,136 | 7,565 | △ 1,571 |
| 合計 | 60,618 | 62,366 | 1,748 |

④ コピー用紙使用量

- 令和3年度のコピー用紙使用量は102,560千枚であり、前年度（106,266千枚）より減少し、目標値（112,671千枚）も達成しました。
- コピー用紙使用量が減少した要因として、新型コロナウイルス感染症対策のためリモート会議が増加したことや電子決裁が進んだことなどが考えられます。
- 電子決裁やリモート会議の更なる活用推進のほか、裏紙利用、両面コピー、集約印刷などの推進及びメ

ールを活用した資料配布によるペーパーレス化などの取組により、コピー用紙使用量の削減に取り組めます。

⑤ 廃棄物発生量等

- 令和3年度の廃棄物関係の実績として、廃棄物発生量は1,791トンであり前年度(1,449トン)に比べ342トン増加しました。資源化率は43.1%であり前年度より2.7ポイント増加しました。
- 品目別では「ガラス・陶器類」は発生量が減少し、資源化率も増加しましたが、「金属類」「プラスチック類」「その他可燃ごみ・生ごみ」は発生量が増加し、資源化率は減少しました。「資源ごみ」は発生量は減少しましたが、資源化率も減少しました。
- 物品めぐりあいシステムの活用による再利用の推進や、廃棄物の分別徹底やリサイクル推進によって、さらなる資源化率の向上に努めます。

表5 廃棄物発生量及び資源化率の実績

| 種類 | 単位 | R1 (基準年度) | | R2 (前年度) | | R3 | |
|------------------------------|----|--------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
| | | 発生量 | 資源化率 | 発生量 | 資源化率 | 発生量 | 資源化率 |
| | | 資源化量 | | 資源化量 | | 資源化量 | |
| 紙類 | kg | 836,805 | 51.8% | 788,490 | 54.1% | 924,514 | 69.3% |
| | | 433,864 | | 426,774 | | 640,419 | |
| 資源ごみ | kg | 89,743 | 92.6% | 69,509 | 97.7% | 68,800 | 91.2% |
| | | 83,098 | | 67,941 | | 62,730 | |
| 金属類 (空き缶を除く) | kg | 66,014 | 87.3% | 61,331 | 31.7% | 89,942 | 12.1% |
| | | 57,656 | | 19,426 | | 10,910 | |
| プラスチック類 (ペットボトルを除く) | kg | 45,529 | 43.7% | 64,311 | 17.0% | 154,129 | 5.0% |
| | | 19,904 | | 10,964 | | 7,677 | |
| ガラス(空きびんを除く)、陶磁器 くず等の不燃ごみ | kg | 21,469 | 80.2% | 15,335 | 15.4% | 11,389 | 24.1% |
| | | 17,223 | | 2,358 | | 2,745 | |
| その他可燃ごみ、生ごみ等 | kg | 422,533 | 9.9% | 409,305 | 11.7% | 521,938 | 9.1% |
| | | 41,683 | | 47,872 | | 47,460 | |
| 粗大ごみ | kg | 20,995 | 42.8% | 40,827 | 26.3% | 20,223 | 3.0% |
| | | 8,979 | | 10,730 | | 616 | |
| 合計 | kg | 1,503,088 | 44.1% | 1,449,108 | 40.4% | 1,790,936 | 43.1% |
| | | 662,406 | | 586,066 | | 772,557 | |

2. 環境物品等の調達の取組結果

- 令和3年度は、環境物品等調達方針で規定した特定調達物品等のうち、長崎県認定リサイクル製品を除く22分野253品目について、環境に配慮した製品を100%調達することを目標として取り組みました。
- 22分野の単純平均で調達率は96.3%となり、目標の達成には至りませんでした。調達目標を達成できなかった主な要因としては、令和3年度から対象とした指定管理施設において環境物品の調達率が低かったことなどが挙げられます。

表6 環境物品等の分野別調達率

| 令和2年度(22分野246品目) | | | 令和3年度(22分野253品目) | | |
|---------------------|-------|--|---------------------|-------|--|
| 分野 | 調達率 | | 分野 | 調達率 | |
| 1 紙類(8品目) | 99%* | | 1 紙類(8品目) | 99% | |
| 2 文具類(83品目) | 99%* | | 2 文具類(83品目) | 98% | |
| 3 オフィス家具等(10品目) | 99% | | 3 オフィス家具等(10品目) | 98% | |
| 4 画像機器等(10品目) | 99%* | | 4 画像機器等(10品目) | 99% | |
| 5 電子計算機等(4品目) | 99%* | | 5 電子計算機等(4品目) | 99%* | |
| 6 オフィス機器等(5品目) | 99%* | | 6 オフィス機器等(5品目) | 99%* | |
| 7 携帯電話等(3品目) | 100% | | 7 携帯電話等(3品目) | 96% | |
| 8 家電製品(6品目) | 100% | | 8 家電製品(6品目) | 100% | |
| 9 エアコンディショナー等(3品目) | 100% | | 9 エアコンディショナー等(3品目) | 100% | |
| 10 温水器等(4品目) | 100% | | 10 温水器等(4品目) | 71% | |
| 11 照明(4品目) | 99%* | | 11 照明(4品目) | 97% | |
| 12 自動車等(3品目) | 100% | | 12 自動車等(8品目) | 97% | |
| 13 消火器(1品目) | 99%* | | 13 消火器(1品目) | 100% | |
| 14 制服・作業服(4品目) | 99%* | | 14 制服・作業服(4品目) | 99% | |
| 15 インテリア・寝装寝具(10品目) | 100% | | 15 インテリア・寝装寝具(10品目) | 68% | |
| 16 作業手袋(1品目) | 99%* | | 16 作業手袋(1品目) | 99%* | |
| 17 その他繊維製品(7品目) | 100% | | 17 その他繊維製品(7品目) | 100% | |
| 18 設備(7品目) | 100% | | 18 設備(9品目) | 100% | |
| 19 災害備蓄用品(10品目) | 100% | | 19 災害備蓄用品(10品目) | 99%* | |
| 20 公共工事(52品目) | 100% | | 20 公共工事(52品目) | 100% | |
| 21 役務(10品目) | 98% | | 21 役務(10品目) | 96% | |
| 22 ごみ袋(1品目) | 93% | | 22 ごみ袋(1品目) | 98% | |
| 単純平均 | 99.5% | | 単純平均 | 96.3% | |

※単純平均以外の各分野における調達率については、小数点以下を四捨五入しています。

ただし、*印の分野については、小数点以下を四捨五入すると100%となるため、表記上小数点以下を切り捨てて99%としています。